

<センター通信 8月号>

～地域医療実習を終えて～



中津川市地域総合医療センター 高橋春光

皆様にご協力いただきまして、去る5、7月に名古屋大学医学部6年生2名が、当センターで地域医療実習を行い無事終了いたしました。実習にご協力いただきました皆様はもちろんですが、ご協力いただきました患者様、利用者の皆様ここに改めて当センターよりお礼申し上げます。ありがとうございました。学生より皆様へのお礼と共にメッセージを預かっておりますので、ここにお知らせさせていただきます。

- ① 普段の実習は大学病院で行うことがほとんどであり、今回のように地域の医療、さらには保健・福祉を担う現場での実習の機会をいただけて、貴重な経験が出来ました。特に地域だからこそ触れることが出来る、患者さんや利用者さんが抱える医療が発生する以前の生活・社会面の問題について考える良い機会となりました。今回学んだことを将来に活かして行きたいと思えます。
- ② まず実習で先生方やスタッフの方々には大変お世話になりました。不慣れで未熟な点が多い自分に親切に指導して下さい、実習に協力していただき、とても感謝しています。また、診療所に来られた患者の方々や施設利用者の方々にも協力していただき、おかげでとても有意義な実習をさせていただきました。この実習を通じて、地域医療、高齢者介護、障害者福祉がどのように行われているかということを知ることができ、また医療面接、身体診察をどのように行えばいいかということをお勉強させていただきました。本当に多くのことを学ばせていただきました。再度になりますが、実習に協力していただいた方々本当にありがとうございました。

現在、医学教育の場は、病院より診療所、地域へ移っています。それは診療所、地域でしか学べないものがあるからです。医学教育を担うのは医師だけではありません。学生や研修医などの学習者に関わる皆様が、学習者を育てます。今後も当センターで地域医療実習、研修を行う予定です。改めて皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。